

〈コンテナ不足〉

今、1年前のおよそ2.5倍に値上がりしているものがあります。世界の物流を担うコンテナ船の運賃です。荷物を積むコンテナが世界的に不足しているため、影響が長引けば、消費者が買うモノの値上がりにつながる恐れが出てくるかもしれません。では、なぜこのような事態になってしまっているのか。新型コロナウイルスが関連しているようです。

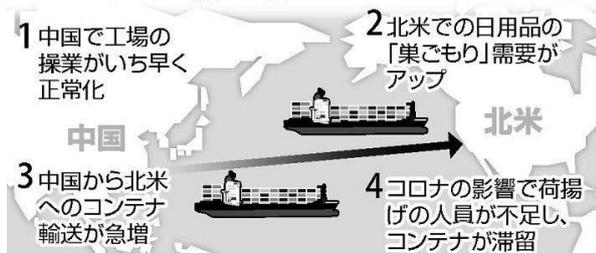
◎コロナウィルス過に伴う巣ごもり需要の拡大

新型コロナウイルスの感染拡大で、去年の春頃はコンテナを使った輸送量が大幅に減っていました。しかし、夏ごろから状況は一変。アメリカで巣ごもり需要が急拡大したため、輸送量は一気に急上昇していきました。これまで旅行や外食、コンサートに費やしていたお金を物品購入に費やすようになったのです。そしてその物品の多くが中国をはじめとするアジアからの輸入品だったのです。アメリカでは年末商戦にあたる去年11月と12月の小売業者の売り上げがコロナ過前のおととしと比べても8.3%増加しました。

◎コンテナ運賃の上昇

去年の後半以降、大量の荷物が押し寄せた一方、港の側では作業員やドライバーが不足して荷物をさばききれなくなっています。荷物の量が港の処理能力を超える状態が続いているのです。この結果、アメリカの港にコンテナが滞留してしまい、アジアなどに十分な量が戻らなくなっているのです。世界で使われているコンテナは9割以上が中国で生産されていますが、急激な需要の増加で、新しいコンテナの供給も間に合っていない。こうして世界的にコンテナ不足が起き、少ないコンテナの取り合いから運送の需給がひっ迫したことで、コンテナ船の運賃は急上昇するに至ったのです。

◆アジアで海上輸送に使うコンテナが不足している



◎今後コンテナ不足はどうなる？

当初は今年2月の中国・旧正月休みまでか、遅くとも5月頃までには落ち着くという見方が強かったのですが、状況に変化はなく長期戦の様相も出てきました。さらに、ここに来て米バイデン政権は一人最大約15万円の現金給付を支給しようとしています。今後、米個人消費の過熱感が増せば、さらに海上物流正常化への道のりは険しくなるものと思われます。そして、物流コストの増加が製品に転嫁されることになると、家計への影響も大きなものとなるでしょう。

弊社でも製品をアジア各国から輸入している中で、現状少なからず影響を受けており、今後の動向を注視している次第です。